# いちのみやの社会福祉

2010
2月号 No.15
発行　社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会
福祉のまちづくり

神山ふれあいの会

## もくじ

・赤い羽根共同募金運動実績……2
・赤い羽根作品コンクール入賞者一覧……3
・全国・愛知県社会福祉大会表彰者一覧
　善意のご寄付……4
・第21回“福祉とボランティア活動展”……5
・ボランティア養成講座のご案内、
　編集ボランティアさん募集……6
・家族介護者リフレッシュ事業のご案内、
　里親ボランティアさん募集……7
・特集　対談「障がい者スポーツの普及をめざして」…8･9
・ボランティア講座開催一覧 ……10
・ケアマネジャーだより…… 11
・各種事業の報告…… 12･13
・編集ボランティアのページ…… 14･15
・社会福祉協議会の事業から…… 16

# 平成21年度 赤い羽根共同募金運動実績

## 地域福祉のために温かいご協力ありがとうございました

### 種別募金額

（円）

| 募金種別 | 募金額 |
|---|---|
| 戸別募金 | 30,578,663 |
| 法人募金 | 10,595,272 |
| 学校募金 | 1,460,323 |
| 街頭募金 | 636,986 |
| 職域募金 | 528,877 |
| その他 | 202,481 |
| 合計 | 44,002,602 |

（12月25日現在）

### 連区別募金額

（円）

| 連区名 | 募金額 | |
|---|---|---|
| | 戸別募金 | 法人募金 |
| 宮西 | 744,350 | 400,100 |
| 貴船 | 880,450 | 367,000 |
| 神山 | 985,500 | 513,700 |
| 大志 | 544,250 | 504,000 |
| 向山 | 572,505 | 299,000 |
| 富士 | 777,000 | 304,000 |
| 葉栗 | 1,376,900 | 398,000 |
| 西成 | 2,884,913 | 1,088,700 |
| 丹陽 | 1,613,668 | 912,100 |
| 浅井 | 1,680,534 | 498,500 |
| 北方 | 886,960 | 329,000 |
| 大和 | 3,006,413 | 844,500 |
| 今伊勢 | 1,938,000 | 330,500 |
| 奥 | 1,077,950 | 440,000 |
| 萩原 | 1,502,929 | 815,500 |
| 千秋 | 1,346,934 | 409,800 |
| 起 | 326,000 | 185,000 |
| 小信中島 | 949,687 | 298,000 |
| 三条 | 1,217,770 | 451,500 |
| 大徳 | 985,715 | 239,372 |
| 朝日 | 1,185,300 | 392,000 |
| 開明 | 729,360 | 242,500 |
| 木曽川 | 3,365,575 | 332,500 |
| 合計 | 30,578,663 | 10,595,272 |

皆様からお寄せいただいた募金は、地域福祉の充実のために役立てられます。

一宮市共同募金委員会

平成21年度

# 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

## 多数のご応募ありがとうございました

「国民たすけあい共同募金運動」の健全な推進を図るため、児童・生徒の皆さんにも「たすけあい」の理解と認識を高めていただくようにとの趣旨から、書道・ポスター作品の募集をしたところ、書道の部8,887点、ポスターの部4,049点の応募がありました。

本会において審査会を開催し、左記特賞作品をはじめ、優秀作品を選出しました。特賞以外の上位入賞者は下記のとおりです。（敬称略）

## 特賞作品

木曽川中3年　野田知奈美

尾西第三中2年　森佑美子

南部中1年　神谷和奏

浅井中3年　菅原好美

富士小5年　長谷川文菜

宮西小4年　今枝志穂

## 書道の部　入賞者一覧

| 学校名 | 学年 | 氏　名 |
|---|---|---|
| 1　位 | | |
| 赤見小 | 5 | 中村　優里 |
| 浅野小 | 3 | 吉田　千尋 |
| 浅井北小 | 6 | 石井　美帆 |
| 千秋南小 | 6 | 浦野　大智 |
| 富士小 | 3 | 土居　由佳 |
| 尾西第二中 | 3 | 三輪有利奈 |
| 尾西第三中 | 2 | 元永　翔子 |
| 2　位 | | |
| 宮西小 | 4 | 浅井理紗子 |
| 宮西小 | 4 | 滝　香織 |
| 貴船小 | 3 | 安達　侑希 |
| 神山小 | 3 | 田山地優真 |
| 瀬部小 | 6 | 平川　舞実 |
| 瀬部小 | 6 | 大塚　穣 |
| 千秋南小 | 4 | 本田　萌紅 |
| 千秋南小 | 5 | 久保田　舞 |
| 千秋南小 | 6 | 岸　晃大 |
| 葉栗北小 | 5 | 加藤　茜 |
| 浅井中小 | 5 | 渡邉　真以 |
| 南部中 | 1 | 中村　文香 |
| 南部中 | 1 | 石原　百華 |
| 葉栗中 | 1 | 岩田　美咲 |
| 葉栗中 | 3 | 伊藤　里紗 |
| 葉栗中 | 3 | 岩田真梨子 |
| 浅井中 | 1 | 田上　功也 |
| 萩原中 | 2 | 服部　文佳 |
| 尾西第二中 | 2 | 岩田　美羽 |
| 尾西第三中 | 2 | 安藤　真望 |

| 学校名 | 学年 | 氏　名 |
|---|---|---|
| 3　位 | | |
| 貴船小 | 3 | 木造ほのか |
| 神山小 | 4 | 青木紗弥果 |
| 神山小 | 5 | 河合　菜穂 |
| 葉栗小 | 4 | 河村　祥成 |
| 赤見小 | 5 | 村上　歩 |
| 大和西小 | 6 | 星野　友香 |
| 奥小 | 3 | 伊藤穂乃賀 |
| 中島小 | 3 | 神野　千暁 |
| 中島小 | 5 | 鵜飼　理紗 |
| 千秋南小 | 5 | 武智久瑠実 |
| 千秋南小 | 6 | 岸　誠 |
| 富士小 | 6 | 村瀬倫太朗 |
| 末広小 | 4 | 内田　奏海 |
| 千秋東小 | 3 | 舟橋奈那子 |
| 小信中島小 | 6 | 坂本　晶 |
| 開明小 | 4 | 長江　柚香 |
| 開明小 | 5 | 魚住　美月 |
| 木曽川西小 | 6 | 稲本　美穂 |
| 中部中 | 1 | 西本　宇志 |
| 南部中 | 2 | 平松　朋子 |
| 南部中 | 3 | 林　里穂 |
| 葉栗中 | 2 | 今井　生莉 |
| 西成中 | 3 | 田邉　綾菜 |
| 丹陽中 | 2 | 大島有里世 |
| 浅井中 | 3 | 三輪　南海 |
| 千秋中 | 1 | 村瀬　実希 |
| 千秋中 | 1 | 久保田優一 |
| 西成東部中 | 2 | 藤川真理子 |
| 木曽川中 | 1 | 水野　里咲 |
| 木曽川中 | 3 | 宮﨑由紀乃 |

## ポスターの部　入賞者一覧

| 学校名 | 学年 | 氏　名 |
|---|---|---|
| 1　位 | | |
| 神山小 | 3 | 中田　彩香 |
| 神山小 | 5 | 浅井　理那 |
| 北方小 | 2 | 金森　耀平 |
| 今伊勢小 | 1 | 森島　詢 |
| 朝日東小 | 4 | 西村　敬太 |
| 木曽川西小 | 6 | 日比野　楓 |
| 尾西第一中 | 2 | 酒井　大介 |
| 2　位 | | |
| 神山小 | 6 | 東　祐芽 |
| 葉栗小 | 3 | 磯貝　樹里 |
| 浅野小 | 5 | 江本　智也 |
| 丹陽西小 | 6 | 小川　雅也 |
| 丹陽南小 | 1 | 井戸　悠月 |
| 北方小 | 3 | 唐澤　咲江 |
| 今伊勢小 | 2 | 長谷川　巧 |
| 今伊勢小 | 4 | 野澤　花梨 |
| 奥小 | 4 | 早田　彩乃 |
| 中島小 | 5 | 中野　遥賀 |
| 起小 | 1 | 小椋　一瑳 |
| 起小 | 2 | 大橋　勇介 |
| 朝日東小 | 5 | 山根　美愛 |
| 朝日東小 | 5 | 後藤真由子 |
| 北部中 | 3 | 渋谷　奈央 |
| 中部中 | 1 | 浅井　彰吾 |
| 南部中 | 2 | 高橋　由佳 |
| 葉栗中 | 3 | 左合　貴 |
| 尾西第三中 | 2 | 大橋　りさ |
| 木曽川中 | 1 | 岡野　綾 |

| 学校名 | 学年 | 氏　名 |
|---|---|---|
| 3　位 | | |
| 宮西小 | 4 | 前田　奈穂 |
| 貴船小 | 5 | 廣川明日香 |
| 貴船小 | 6 | 長橋　絵美 |
| 大志小 | 5 | 稲垣　実紅 |
| 瀬部小 | 6 | 山田彩矢佳 |
| 赤見小 | 2 | 桜井紀莉果 |
| 赤見小 | 3 | 土川ゆりあ |
| 浅野小 | 2 | 片桐　悠偉 |
| 大和西小 | 4 | 杉木　真由 |
| 今伊勢小 | 3 | 福田　悠人 |
| 奥小 | 2 | 高橋　佳歩 |
| 萩原小 | 6 | 図師　光 |
| 富士小 | 1 | 中村　麻美 |
| 末広小 | 4 | 南谷　美優 |
| 葉栗北小 | 3 | 野村　桃花 |
| 浅井中小 | 5 | 西　翔也 |
| 起小 | 5 | 藤橋　沙知 |
| 朝日東小 | 3 | 日比野莉奈 |
| 朝日東小 | 6 | 山内しおり |
| 朝日東小 | 6 | 松本　奈月 |
| 開明小 | 1 | 岡庭　陽 |
| 北部中 | 1 | 横山菜穂子 |
| 北部中 | 1 | 新井　理穂 |
| 北部中 | 3 | 辻　啓太 |
| 浅井中 | 3 | 山口　果歩 |
| 北方中 | 2 | 野田慎一郎 |
| 大和中 | 3 | 高井　彩奈 |
| 尾西第三中 | 1 | 田中　輝良 |
| 尾西第三中 | 2 | 児玉　笑夏 |
| 木曽川中 | 2 | 日比野　晶 |

# 表彰おめでとうございます

◆平成21年11月20日、日比谷公会堂において平成21年度全国社会福祉大会が行われ、一宮市から次の方々が表彰されました。（敬称略・順不同）

**◎全国社会福祉協議会会長表彰**

・永年勤続功労者

太田祐浩、冨板嫦娥子、滝　みちよ、稲垣文子、野村明美、今井由紀子
野村由恵、土屋しのぶ、平澤雅美、服部知子、木全和枝、吉田敏子
青山正子、安藤高子

**◎中央共同募金会会長表彰**

・従事功労者

森本　勝

◆平成21年10月22日、愛知県体育館において第57回愛知県社会福祉大会が行われ、一宮市から次の方々が表彰されました。（敬称略・順不同）

**◎愛知県社会福祉協議会会長表彰**

・民生委員・児童委員

伊藤政子、佐見忠征

・社会福祉施設・団体役職員

溝口眞澄、堀井直孝、不破辰男、渡部　昭

・その他、社会福祉事業の進展に寄与した者

尾西手話サークルにこにこ会

**◎愛知県共同募金会会長表彰**

・奉仕功労者

長屋英雄、小酒井英年、星野文子、神谷　勝、吉田一彦

# 善意のご寄付ありがとうございました

平成21年８月１日～11月30日

（敬称略・順不同）

| | |
|---|---|
| エス・ビー建材（４回） | 起工業高等学校機械科 |
| 向山連区盆踊り実行委員会 | 尾西信用金庫 |
| ニッケインドアテニス | 大志連区女性の会 |
| 尾西モラロジー女性クラブ | 壱番屋ボランティア委員会 |
| 木全静子 | 一宮興道高等学校生徒会 |
| 伊藤嘉代子 | 木曽川商工会女性部 |
| 尾西高等学校ＰＴＡ・生徒会一同 | 一宮菊花大会 |
| 樋口美紗音楽事務所 | 岩田明導 |
| 愛の募金箱設置店（80箇所） | 豊田合成 |
| 一宮市ボランティアセンター登録ボランティアグループ | 大志連区民生児童委員協議会 |
| 一宮市民生児童委員協議会 | 起ジュニアクラブ |
| ボーイスカウト一宮第13団ビーバー隊 | 匿名　17件 |
| 西尾張建設共同組合 | |

**合計　1,779,502円**

## 第21回　みんなと一緒に“福祉とボランティア活動展”

# 盛大に開催
# ふれあいの輪がひろがりました!!

平成21年10月17日（土）・18日（日）の両日、一宮スポーツ文化センターにおいて、本会が主催し福祉関係者、施設、団体、ボランティアが参加した、「福祉とボランティア活動展」が開催され、2日間で約5,000人の入場者がありました。

この催しは、市民の皆さんに福祉とボランティア活動に対する理解と啓発並びに参加の呼びかけを目的に開かれました。会場ではそれぞれの活動状況や内容が、写真・ポスター・パネル等で紹介され、なかでもバザー・体験コーナーには大勢の人の姿がありました。模擬店も好評で全品が売り切れとなる盛況ぶりでした。

また、ボランティアグループによる活動発表会では、出演者の熱演に来場者の皆さんはすっかりご満悦でした。活動展のしめくくりには「ふれあい餅つき大会」がおこなわれ、つきたてのお餅が来場者に振る舞われました。

皆様方のご協力をもちまして無事に開催できました。ありがとうございました。

入場の様子

ふれあい餅つき大会

体験コーナー（手話）

盲導犬PRコーナー

# ボランティア養成講座のご案内

## あなたの人生を豊かにする　退職者ボランティア講座

日　　程：２月25日～３月18日の毎週木曜日　午前10時～正午
会　　場：社会福祉協議会（本部）
対　　象：おおむね56歳以上の退職者
内　　容：新しい仲間とともに地域社会に根ざしたボランティア活動を行うため、心構えと基本ノウハウを体得する
定　　員：30名（先着順）
受 講 料：無料
申し込み：２月５日（金）から電話で本部（TEL24－2940）へ

| 回 | 月　日 | テーマ | 講　師 |
|---|---|---|---|
| 1 | ２月25日(木) | 防災ボランティア | 一宮防災ボランティアネットワーク 代表　伊藤　善之　氏 |
| 2 | ３月４日(木) | 障害者とパソコン | ありんこ 代表　松崎　俊行　氏 |
| 3 | ３月11日(木) | スポーツボランティアと体力づくり | 愛知県障害者スポーツ指導員<br>愛知県健康づくりリーダー　酒井マチ子　氏 |
| 4 | ３月18日(木) | さあ始めようボランティア | NPO法人　一宮ボランティアグループリーダーの会 理事長　浅野　總一郎　氏 |

※　テーマは変わる場合があります。

## 視覚・肢体障害者の外出を支援する　ガイドヘルプ講習会

日　　程：３月３日（水）・10日（水）
　　両日とも 午前10時～午後３時
会　　場：一宮スポーツ文化センター
対　　象：市内在住･在勤で、視覚･肢体障害者福祉に関心がありボランティア活動を希望する方
内　　容：ガイドヘルプについての講義、実技、屋外体験実習など
定　　員：20名（先着順）
受 講 料：無料（実習用昼食・バス・電車代は各自負担）
申し込み：2月５日（金）から電話で本部（TEL24－2940）へ

# 編集ボランティアさん募集!!

社協広報紙「いちのみやの社会福祉」（年３回、６月・１０月・２月に発行）の紙面において、現在４名の方が「編集ボランティアのページ」で活躍しています。その方たちと一緒に活躍していただくボランティアさんを募集します。

福祉・ボランティア活動について企画・取材・編集し、「編集ボランティアのページ」で市民の皆さんにより近い視点からさまざまな情報を発信していただきます。

対　　象：市内在住・在勤・在学の高校生以上の方で、福祉・ボランティア活動などに興味がある方
活動内容：月１回程度の打合せ会議と取材・編集作業
募集人員：若干名
申し込み：本部（ＴＥＬ２４－２９４０）へ
締 切 り：２月２６日（金）
※　後日面談の上決定をさせていただきます。

# 家族介護者のみなさんへ リフレッシュ事業に参加しませんか？

日々の介護から少しの間だけ離れ、同じように家庭で介護をしている方々と日頃の悩みや体験を語り合って、介護疲れを癒しリフレッシュしましょう。

対　象　者：市内在住の方で「介護保険法」において「要支援1･2、要介護1～5」と認定された方を在宅で介護されている方

参　加　費：500円

集合・解散：一宮駅南高架下

定　　員：20名（先着順）

申し込み：２月５日（金）
午前９時から電話で本部（TEL24－2940）へ

**日時・内容など**

| 月　日 | 時　　間 | 内　　容 | 場　　所 |
|---|---|---|---|
| 3月12日(金) | 午前9時～午後4時 | 日帰りバスツアー<br>個別相談 | ホテルパーク（岐阜市） |

# 里親ボランティアさん募集!!

社会福祉協議会では、児童養護施設の入所児童が心身ともに穏やかに成長するための一環として、児童に一般家庭での生活体験をしてもらおうと「里親ボランティア事業」を実施しています。

この事業は、1週間程度里親さんとして施設の児童を預かっていただき、児童に家庭の温かさを体験してもらうものです。

実施期間は、５月のゴールデンウイーク、お盆、年末年始の年３回です。

ボランティアさんとしてご協力いただける方は本部（TEL24－2940）へご連絡ください。

# スポーツの普及をめざして」

一宮市社会福祉協議会木曽川支部 主査 遠藤修正

**遠藤**　始めに、本田さんの方から、これまで行ってこられました障がい者スポーツの普及活動についてお話をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

**本田**　私は指導員研修を終えてはいるものの自己流で、最初は一宮で障害者団体の中で部活的活動から、指導員の資格を取ったのですが、まず、自分の体を鍛えていかなければと、基礎体力ですね、表面ではない影に隠れた基礎トレーニングを行うことです。真剣に行っていく中で、これも障がい者スポーツの一つではないかなと思っています。陸上、水泳を行う中で、ボッチャとかの活動に入っていったという経緯があります。これに関しては障がい者のスポーツではないのですが、リハビリテーション的要素がかなりあると思うんですね、そして、それを生かすことは、医学的、いわゆる二次障がいの予防、つまり進行していくのを遅らせるということは、かなり重要と思っています。また、メンタル面においても訓練することができるので、それもこれまで重視してきました。

**遠藤**　指導者協議会の指導員として、これまで主に関わってきた種目は何ですか。

**本田**　私の専門は、レジスタンストレーニングというもので、その中でもパワーリフティングが専門ですが、まだ日本では、限られたところしか大会は行われていません。現在、全国障害者スポーツ大会の正式種目にもなっていませんが、パラリンピックは正式種目で、難易度の高いスポーツなんです。だから、一般の方がぱっと見られて、障がい者がやっていると言うと、びっくりされる方が多いですね。

**遠藤**　では次に、社会福祉協議会がこれまで行ってきた障がい者スポーツサポートボランティア養成講座についてですが、この事業は合併後に始まった新規事業で、毎年5回コースで行っています。1回目は障がい者福祉概論で、当事者をボランティアとして支えていくには、障がいに対してどのような考え方を持つべきかを学んでいただきます。2回目はボッチャの体験実習、3回目はカローリングの体験実習、4回目は普通救命講習、5回目は「障がい者スポーツとボランティア活動について」の講義を行うものです。そして、この講座の目的は、障がい者スポーツを支えていただける人を養成していくことですので、障がい者スポーツの普及という点では、これまで特に取り組んでいませんし、障がい者スポーツの普及とそれを支援する人のバランスまでは手が届かない状況でした。そして、そういったことが関係してか、講座の10名定員がなかなか集まらないということもありました。そこで、今回の特集でこのことをテーマとして取り上げ、本田さんとの対談をする中で、何か新しいことを見出せればと考え企画しました。

**本田**　では今度は、全国、愛知県、一宮市の障がい者スポーツの現状についてお伺いしたいのですが。

　全国大会は、私も何回か行かせていただきましたが、多くのアスリートがいるなという印象でしたね。また当然ですが、県予選を勝ち抜いてきた方なので、競技性が高いと感じました。愛知県の場合は、1回出場したらその次は5年経ってからしかエントリーできないという規定があって、できるだけ一人でも多くの障がい者を出場させたいという信念なんですよね。地元一宮市の場合は、まだまだという感じですね。しかし、私たちが行ってきた障がい者スポーツ教室が今年で6回目を迎え、やっと少し進展してきた感があります。それで、これを今後は、障がい者及びサポートボランティアにどう生かしていくかが問われている。まずは、障がい者と一緒に一般の方にも体験していただき、ふれあいを通じていろいろな方を巻き込んで、障がい者スポーツを理解してもらうことが大切だと思います。

**遠藤**　そうですね。社協の貸出備品としてボッチャやカローリングがありますが、それを活用する場が増えてこないと、やはり支える人も増えてこないような気がしています。ですから、障がい者も健常者も一緒にニュースポーツを楽しめるような場がもっとできるといいと思います。

　先ほど全国では競技性が高いという話がありましたが、この地域では、まだまだそこまでは普及していないけれども、いずれは競技を目指して、まずは「楽しむ！障がい者スポーツ」からですね。

　次は、誰でも簡単に楽しめるニュースポーツ、中でもボッチャ、カローリング、フライングディスクの障がい者への普及の可能性についてお伺いできますか。

**本田**　ボッチャは、パラリンピックの正式種目になっています。このスポーツは、重度障がい者でもできるという特徴があり、毎年競技人口は増えています。愛知県の大会でも、約90チームくらいがエントリーしています。フライングディスクは知的障がい者ができるスポーツということから生まれてきたスポーツで、一宮東養護学校の体育の授業でも今まで行われてきています。競技の内容としては、そんなに難しくなく楽しめるスポーツだと思います。場所と道具さえあれば、どこでもできるため、私の方にもやってほしいという声があります。カローリングについては、名古屋は徐々に普及しつつありますが、愛知県全体においてはまだまだで、一宮市においても限りなく0％に近い普及率だと思います。

# 特集 対談「障がい者

愛知県障害者スポーツ指導者協議会一宮支部長　本田武英　×

**遠藤**　やはり、カローリングは価格が高くなかなか購入できないということもあるのでしょうか。

**本田**　そうですね。

**遠藤**　では、この3つの競技について、一宮市で普及を図るにはどのような取り組みが必要と思われますか。

**本田**　そうですね、障がい者をサポートしていくには、①ボランティアさんの養成、②指導員の育成、これは最重点に取り組まなければならないし、社協さんともタイアップして何か取り組みたいと思っています。

例えば、レクリエーション的なもので遊びから入っていくような、そういうところに一番ニーズがあるような気がします。

**遠藤**　木曽川ボランティア連絡協議会では、昨年の3月から、「きそがわボッチャ・カローリング大会」を開催していて、約60名の参加がありましたが、障がい者の参加はまだ少ない状況です。一宮市全体でこのような大会が行われるといいですね。

**本田**　そうですね、私たちと社協、行政が協力すればできると思います。

**遠藤**　それでは最後に、社会福祉協議会に期待するものについてお伺いしたいのですが。

**本田**　私が今回、社協の障害者スポーツサポートボランティア養成講座に講師として関わらせていただいて思ったことは、平日に開催するのはどうかと感じます。例えば、毎週土日開催で行うというのはどうでしょうか。高校のボランティア部とか社会人のより多くの参加が見込まれるのではないでしょうか。また、社協さんには、もっとPRしてほしいと感じました。

**遠藤**　はい、わかりました。あと内容についてはどうですか。

**本田**　そうですね、種目をボッチャやカローリングに固定せずに、フライングディスクも含めて、障がい者スポーツなどを取り入れたらいいと思います。また、第1回目の障害者福祉概論では、障がい者スポーツの安全理論を内部障がい、上肢・下肢障がい別に行ってもいいと思います。そして、修了者には、県社協が行っています初級指導員養成研修を勧めることができるので、そういう意味では、この一宮市社協が行っている講座は意義のあるものだと思います。

**遠藤**　例えば、一宮市内で初級指導員養成研修を開催することについては、どう思われますか。

**本田**　そうですね、身近な地域で実施できればいいですが、現状では政令指定都市以外では、例はないように思います。

それと、車いすの体験もカリキュラムに入れてもいいと思います。私は車いすテニスの手伝いに行くときがありますが、新人の指導員さんには特に、自身で車いすに乗って体育館を5週くらい走らせるようにしています。そうすると、始めのうちはいいのですが、だんだんバランスを崩してきて、転倒することがかなりでてきます。それを体験することによって、どうやって転べばいいのかを肌で体験していただくということも大事だと思っています。

**遠藤**　そうですね、サポートする人が車いすの不便さを肌で体験することによって、障がい者スポーツの支援ニーズを理解し、よりよい援助を行うということですね。

小中学校等の福祉実践教室でも車いす講座は実施していますが、もう一歩踏み込んで、障がい者スポーツの支援という視点から援助方法を学ぶということはとても有意義と思います。

今日は、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。これからも、各々のできることを出し合って協力し、障がい者へのスポーツの普及を推進していきましょう。今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。

**本田**　ありがとうございました。こちらこそ、よろしくお願いします。

## カローリング

## ボッチャ

# ボランティア講座開催一覧

## 社会福祉協議会では、いろいろな講座を開催します

日常において、障害を持つ人とのスムーズなコミュニケーションの手助けとなれるよう、初めての方でも参加しやすい講座があります。また、ボランティアを目指す方には入口となるボランティア養成講座もあります。下記の予定で開催しますので、関心のある方は一度講座に参加されてはいかがでしょうか。

**社会福祉協議会で開催する講座一覧**

| 講　座　名 | 開催時期 | 回数 | 開催場所 | 定員 |
|---|---|---|---|---|
| 音訳講習会 | ５月～１１月 | 10回 | 本　部 | 20人 |
| 車いすガイドヘルプ<br>ボランティア養成講座 | １１月 | １回 | 尾西支部 | 20人 |
| 視覚障害者ガイドヘルプ<br>ボランティア養成講座 | １１月 | １回 | 尾西支部 | 20人 |
| ガイドヘルプ講習会<br>（車いす、視覚障害者を含む） | ３月 | ２回 | 一宮スポーツ文化センター | 20人 |
| 傾聴ボランティア養成講座 | ６月 | ３回 | 本　部 | 20人 |
| 手話入門講習会（昼の部） | ５月～１０月 | 20回 | 本　部 | 20人 |
| 手話入門講習会（夜の部） | ５月～１０月 | 20回 | 本　部 | 20人 |
| 手話基礎講習会 | ５月～１０月 | 20回 | 本　部 | 20人 |
| 手話基礎講座 | ６月～１０月 | 15回 | 木曽川支部 | 20人 |
| 小学生親子手話 | ７月 | ５回 | 本　部 | 20組 |
| 夏休み手話教室 | ７月～８月 | ５回 | 木曽川支部 | 20人 |
| 手話入門講座 | ７月～９月 | 10回 | 木曽川支部 | 20人 |
| 手話入門講座 | ９月～２月 | 20回 | 尾西支部 | 20人 |
| 障害者スポーツサポート<br>ボランティア養成講座 | 10月～11月 | ５回 | 木曽川支部<br>木曽川体育館 | 10人 |
| 退職者ボランティア養成講座 | ２月 | ４回 | 本　部 | 20人 |
| 点訳講座 | ９月～１１月 | 12回 | 本　部 | 20人 |
| 視覚障害者パソコン講習会 | 10月～12月 | ８回 | 木曽川支部 | ６人 |
| 防災ボランティア講座 | ７月～８月 | ３回 | 本　部 | 40人 |

**開催場所について**

**尾西支部は市役所尾西庁舎東館4階にあります。木曽川支部は高齢者生きがいセンターにあります。**

上記は、予定のため、開催時期等が変更になったり、また開催されない場合もありますので、あしからずご了承ください。

# ケアマネジャーだより

## ── 介護保険の支援サービス ──

　前回の「ケアマネジャーだより」で介護保険の支援サービスの入り口のことを皆様にお伝えしました。
　今回はケアマネジャーのことについて少し触れたいと思います。
　ケアマネジャーは正式には「介護支援専門員」と言います。
　皆様、どこかでこの言葉を聞かれたことはありますか？
この資格を得るためには、もとになる資格が必要です。

たとえば、
　○看護師
　○介護福祉士
　○社会福祉士　　など、他にも数々の資格があります。

　そのもとになる資格がある上で、さらにケアマネジャーとしての実務の専門的知識を学び、介護支援専門員の仕事をしています。

では、どこにいるのでしょうか？
　多くは、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所や介護保険施設などにいます。

では、何をしてくれる人なのでしょうか？
　介護保険サービスを利用するためには、まず、一宮市役所高年福祉課や尾西庁舎、木曽川庁舎の窓口へ要介護度認定の申請をしていただくことが必要ですが、ご本人や家族が出向くことができない場合などには、お近くの地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネジャーが介護保険の申請の代行をしてくれます。

そのほかにも、ケアマネジャーは様々なことを行っています。
次回にまた、お知らせしていきたいと思います。

# 福祉実践教室を開催しています
## ～いろいろな福祉体験をいかしてね～

社会福祉協議会では、市内の小・中・高等学校の中から社会福祉について学び、各種事業に取り組んでいただく福祉推進校を指定しています。

今年度は５５校を指定し、そのうち小学校３０校、中学校１９校で福祉実践教室を開催しました。手話、点字、車いす、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者擬似体験等の福祉実践教室が行われています。児童・生徒の皆さんに、ふだんの授業では触れることのできない福祉という分野、特に障害を持つ人たちへの理解を深め、思いやりの大切さを学んでもらっています。

子どもの頃から福祉を理解し、今後の日常的な実践活動への契機とするもので、皆さん真剣に取り組んでいました。

ガイドヘルプを体験中

車いすを体験中

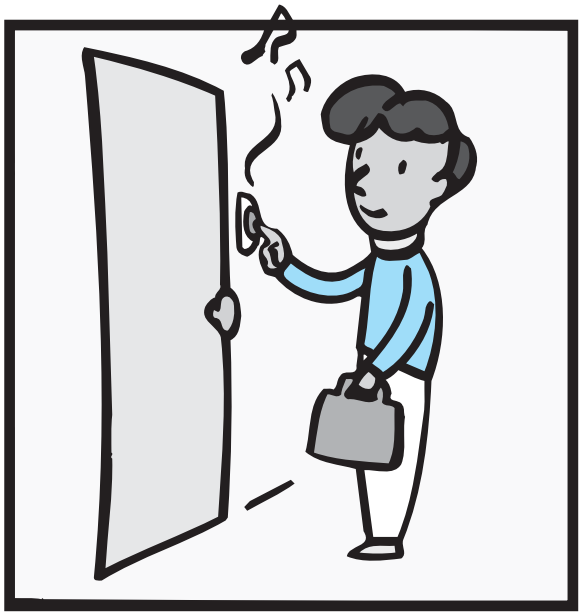
点字を体験中

# 元気でお過ごしですか？
## ひとり暮らし高齢者宅を訪問

社会福祉協議会では、地域の民生児童委員さんのご協力により、ひとり暮らしの高齢者宅への訪問を実施しています。

この事業は年末などに担当民生児童委員さんに高齢者宅を訪問していただき、安否確認をすると同時に日常生活での悩みごとなどをお尋ねして、ひとり暮らしの方が地域で孤独にならないよう、安心して暮らしていただきたいという願いで実施しています。

対象者には慰問品が手渡され、「これからも元気でお過ごしください。」とやさしい声をかけられていました。



# 家族介護者のみなさんがリフレッシュしました!

平成21年11月6日(金)に、在宅介護者に対して、日頃の介護疲れを癒し、支援する事を目的に家族介護者リフレッシュ事業を開催しました。

19名の参加者で、一日バス(日帰り)で蒲郡市に出かけ、保健師・ケアマネジャーの指導並びに助言を受け、自己紹介しながら参加者全員の方より、日常の苦労や介護の現況を話して頂きました。

研修終了後は食事をしながら、介護の方法や悩みについて話合い、お互いに打ち解け合い、のんびりとした時を過ごしていただき、明日への活力としていただきました。

# 各連区で敬老会が開催されました

社会福祉協議会の23支会主催により、敬老会が各地で開催されました。

平成21年９月12日、木曽川体育館において毎年恒例の木曽川町連区敬老会が開催されました。当日は、たくさんの皆様にお越しいただき、記念品が配布されました。式典では、市長さんや地元議員さんからのお祝いのことばをいただき、アトラクションでは、地元出身・将魔さんのマジックショー、牧伸二さんのウクレレ漫談ショーが行われました。

会場の皆さんは、楽しい芸能ショーに感動し、ふだん味わえないひと時を過ごされました。

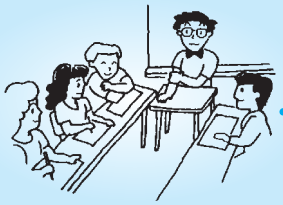
# 戸塚ニュータウンふれあいサロン 花池ふれあいサロンが立ち上がりました

◎21年8月戸塚ニュータウンふれあいサロン
毎月第2木曜日　午前9時30分～11時30分
戸塚ニュータウン第1集会所　会費　200円

◎21年10月花池ふれあいサロン
毎月第４月曜日午後1時30分～3時30分
花池公民館　　会費　200円

サロンはひとり暮らし高齢者や障害者等に最寄の施設に集まり、軽い体操・ゲーム・工作・茶話会などで憩いの時間を過ごしてもらうものです。

＊問合わせ先：尾西支部地域福祉サービスセンター
担　　当：玉腰　TEL６３－４８００



# 編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／森　勝己、築城基裕、岩下茂子、石井恵子

## 新たな高齢者問題…買物が困難な人達を支えよう

最近、高齢者福祉の分野で「買物に行けない人達を支えよう」という話がよく出ます。以前は自分の町内や隣の町内には、八百屋さん、薬屋さん、よろず屋さんがあって、高齢者でも日常品を歩いて買うことができました。その後、経済の変動と車社会は、郊外の大型店舗ラッシュを生み、近くて便利なお店が少なくなりました。更に、未曾有の少子高齢化が家族構成の激変を招き、高齢者の二人住まいや独居家庭が増え、買物さえ難儀な方達が増えました。

このような方達のために、行政や社会福祉機関およびＮＰＯ団体の施策も多くあり、買物・通院などを援助しています。しかし、その対象者は、主に身体障がい者の方（介護保険の認定者）に限られることが多く、単なる歩行困難者には、あまり目を向けられていないのが現状です。歩けるけれども「一人で安全に歩けない」方達が増えているのです。

2005年の愛・地球博（愛知万博）の会場で、お客さんを乗せた幌付きの自転車が登場し、会場内のパビリオンをドアツウドア（玄関から玄関へ）で走っていました。「ベロタクシー」と言います。国内では約21の都市で登録があり、主に観光客ガイドに使われているようです。運営資金はガイド料金に加え、幌や車体に描かれた広告スポンサーからの広告料で支えられています。いわば動く広告です。法的なことなど詳細は分りませんが、こんな乗り物が高齢者の足となり、外出や買い物などを援助するＮＰＯ活動団体が、わたくし達のまちにあってもいいなと思いました。

## 「あなたが認知症になったから あなたが認知症にならなかったら」

**越智須美子・越智俊二著**

今回ご紹介する本は、若年性認知症になった夫を支えた妻と家族のお話です。マスコミで紹介され、映画「明日の記憶」のモデルになっています。47歳という若さで認知症になってしまった本人や家族の苦しみ、思い、優しさや哀しみが赤裸々につづられています。会社に行く道順がわからなくなり、やがて仕事の手順もわからなくなって職を失い、日常生活さえもままならない不安でいっぱいの俊二さんを元気にしたのは、通っていたディサービスの施設長さんでした。病気になった気持ちやこれからのこと、家族への思いなど、俊二さんの思いをたくさんの時間をかけて、何度も何度も聴いてくれたのです。自分に関心をもって話を聴いてくれる人がいることで、自分の存在価値を再確認できるようになったのだと思うと妻の須美子さんは言っています。患者と毎日一緒に過ごす家族は、気持ちに余裕を持つのは難しいと思います。私は傾聴の大切さを再認識しました。

俊二さんは徐々に病状が進行するなかでも、通っていたディサービスで陶芸やはがき絵、書道に楽しみを見つけます。その作品は360点にのぼり、展示会も開かれました。須美子さんは展示会をやってよかったと言っています。それは、認知症になっても多くの大きな力を有していること、認知症になっても豊かな感情は決して失われないということを多くの人たちに伝えることができたからです。

47歳から62歳までの16年間、若年性認知症の俊二さんを支えてきた須美子さんは最後にこう結んでいます。

『夫が認知症になって、失ったものがありました。夫が認知症になって、得られたものもありました。夫が認知症にならなかったら、今より幸せだったかもしれません。夫が認知症にならなかったら、幸せというものに気づかなかったかもしれません。』

俊二さんが2004年第20回国際アルツハイマー病協会の国際会議で若年性認知症の当事者として講演されたことは、同じ病に苦しむ人や介護する家族にとって大きな励ましになりました。高齢者の認知症だけでなく若年性の認知症に対しても、もっと社会の理解と受入れが必要になってきています。

# ～要約筆記初級講座から～

要約筆記とは、耳が不自由な方達が必要とする情報を書いて伝える手段です。
まだまだ社会的には、あまり知られていませんが、これから高齢化社会が進む中、求められていく技術だと私は、思っています。
今回、初級講座を10回コースで開催させていただきました。参加者皆様の受講理由は様々で、終わった時の感想もそれぞれでした。
やはり手話の経験をなされた方の参加も多く、要約筆記の技術だけでなく、どんな組織で活動しているのか、現実の障害者の生活の問題点に興味を持っていただいた方がいたり、積極的な手話の活動をしながら、さらに視野を広げる為に参加する方、さらに加え、話をまとめるのが苦手なのでそれを克服する為にも参加したいという方もおりました。

話し言葉を、要約して情報を提供していく大切さが少しでも分かっていただければと…
自分のまわりに聞こえにくくなった人がみえたら、大きな声で話しかけるのでなく、書いて伝えると喜ばれる事も、知っておくとよいかもしれません。
興味を持たれた方はどなたでも私達のサークルへきてみて下さい。

**要約筆記サークルびさい**
定例会：毎月　第1・第3火曜日
時間　午後1時30分～3時30分
場所　社会福祉協議会尾西支部

# 「介護と暮らし」　実録体験レポート2

## ～要介護認定が下りたものの…～

前回は、私の父（73歳）の要介護申請手続きの様子をレポートさせていただきました。
今回は、引き続きその後の様子をレポート致します。
申請手続きをしてから待つこと数週間、父の結果は「要介護２」と認定されました。結果が出るまでかなり時間がかかると聞いていましたが、思ったより早く、私の予想より重い認定が下りました。申請問診時は転倒時まもない時期で、鎖骨骨折の影響で自力でトイレに行くことが精一杯のレベルだったことや、やはり認知（痴呆）の度合いにも依ったのでしょう。その後、幸い！？入院生活は約３週間で終わり、父がとうとう我が家にやってきました。我が家は建築後６年程しか経っておらず、バリヤフリー仕様にはなっているものの介護老人を迎え入れるための専用部屋も想定しておらず、１Fの和室（兼寝室）を間に合わせで片付け、そこに介護用ベッドをリースし準備しました。恥ずかしい話ですが、実は私の父は普通ではなく、他に見たことがない、我がままと自分勝手な性格で、全く人の言うことをきかない人間です。実はこの点が一番の心配でした…。結局我が家の同居生活は４日を待たずに終了しました。予想通りの性格にまして、認知症状もあり、全く新しいことが覚えられずに、朝から晩まで「トイレはどこ？」「水道はどこ？」「テレビはどうやってつけるの？消すの？」の質問に答えているだけの状況に私が耐えられませんでした。（昼間家にいる妻はもっと大変だったと思いますが…）。デイサービスも体験で無理やりなだめて何とか１日行かせたのですが、その後は予想通り「二度と行かない」で終了。そんなこんなで、父と私の度々の喧嘩ごしの問答の際、思い切って帰してしまいました。（帰ってもらいました）私や妻がノイローゼになってしまったら、まだ幼い子供を３人も抱え、元も子もない状況になってしまいます。反面、幸い父の体調は少しづつ回復していたため何とかなるだろうとの思いと、痴呆の方も長年住み慣れた実家の方がいいとも思ったからでした。
その後、妻が毎日父の住む実家に食事を持っていき（１Km程の所）、大の風呂嫌い（これがまた臭くて困る）を何とか週に１回なだめすかして、我が家に入浴に呼んでいます。その後、約３ヶ月が経ち、今のところ何とかかんとかギリギリの状況ではありますが父は１人で暮らしています。

予想通り、トイレや水道やテレビも自分で使いこなしています。ただ基本的に言うことは聞かず、好きなビールは止まる所を知らず、ほとんどビールのみの日もある位です。（またいつ倒れることやら…トホホ…）さてさていつまでこの状況がつづくのか。
次回のレポートにつづきます。

# 社会福祉協議会の事業から

声の広報（スタッフの皆さん）

木曽川町支会ふれあい昼食会

貸出し（福祉車両・車いす）


## 社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会

### 本　部

〒491-0847　一宮市大和町宮地花池字中道9番地16
TEL〈0586〉24－2940（代表）　FAX〈0586〉72－5022
ホームページ　http://www.138sk.org

### 尾西支部

〒494-8601　一宮市東五城字備前12番地
（一宮市役所尾西庁舎東館4Ｆ）
TEL〈0586〉63－4800
FAX〈0586〉61－2970

### 木曽川支部

〒493-0001　一宮市木曽川町黒田字西沼51番地
（一宮市高齢者生きがいセンター内）
TEL〈0586〉87－2000
FAX〈0586〉86－0309


本紙は目の不自由な方のためにテープに録音し貸出しており、点字版広報も配布しております。ご希望の方は本部まで